



J-MICC Study 静岡地区の進捗状況

日本多施設共同コホート研究（ジェイミックスタディ）は、生活習慣や遺伝的体質とがんなどの生活習慣病との関係を調べるため、2005年にスタートしました。その後、多くの皆様にご協力をいただき、日本で最大規模の分子疫学コホート研究に成長しました。おかげさまで、J-MICC連合を含めた全国の研究協力者数は、**2014年6月に目標の10万人に到達**しました。

このうち静岡地区では、2006年から2007年にかけて聖隷予防検診センターの人間ドックを受診された方々に研究参加をお願いし、約5,000人の方々にご協力いただくことができました。参加登録後、研究の柱となる生活習慣病の発症や、生活習慣病に関連の深い透析の状況（2015年度より）を調べるため、研究参加者の皆様には「健康状態のおたずね」への回答を年に1回お願いしております。

現在、**静岡地区の独自研究、ジェイミックスタディ全体の研究、他施設との共同研究**の3本柱で、様々な研究が進行中です。防衛医科大学との尿酸値に関する共同研究に加え、東京大学との共同研究「**糖尿病発症の環境・遺伝因子相互作用解析と糖尿病発症予測モデルの検証**」も開始されました。これからも研究成果の発信にいつそう力を注いでまいります。引き続きご支援の程よろしく申し上げます。

2016年度 市民公開講座・シンポジウム 開催報告 (<http://www.jmicc.com>)

ジェイミックスタディが開始されてから10年。追跡期間の折り返し地点を過ぎ、いよいよコホート研究としての研究成果の収穫期に入ってきます。学術面の充実はもちろんのこと、社会に向けた、より幅広い広報活動も求められるようになっていきます。

2016年度は、市民公開講座「がん・認知症研究の最前線」（2016年10月30日：愛知県がんセンター）とシンポジウム「日本のゲノムコホート研究の現状と未来 ～研究支援の立場から～」（2016年12月10日：愛知県がんセンター）を開催しました。前者は、文部科学省の研究助成を受けている研究グループ合同で行われた企画でした。ジェイミックスタディからは中央事務局長の若井建志（現・主任研究者）が登壇し、

がんを対象とした疫学研究について概説しました。「がん」と「認知症」という関心の高いテーマであったこともあり、多くの市民の方々に足を運んでいただきました。会場から沢山の質問が寄せられ、質疑時間が足りなくなる一幕も。紅葉をモチーフとした、季節感あふれる印刷物も好評でした。

後者のシンポジウムは、東北メディカル・メガバンクや国立がんセンターで実施されているゲノムコホートにかかわる研究者が登壇し、日本における研究の現状と今後の展望について講演を行いました。さらに、ジェイミックスタディや連携するコホート研究での研究支援活動について、取り組みが紹介されました。より大きな学術成果を得るために、日本国内にあるゲノムコホート研究の連携体制の構築は不可欠のものとなっています。課題を共有するとともに、今後の連携に向けた活発な討議が行われました。



J-MICC Study 各地区の進捗状況（参加者数は2017年5月時点）

こちらでは、現在までのジェイミックスタディ各地区の進捗状況をご報告します。

研究機関名（参加者数）	進捗状況
千葉県がんセンター（8,098名）	印西市、我孫子市、柏市の住民を対象に、ベースライン調査を実施。現在、第二次調査および追跡調査実施中。
静岡県立大学（6,337名）	静岡県内の人間ドック受診者および企業健診受診者を対象に、ベースライン調査を実施。現在、第二次調査と追跡調査実施中。
愛知県がんセンター（9,091名）	愛知県がんセンター受診者を対象に、ベースライン調査実施。現在、第二次調査と追跡調査実施中。
名古屋市立大学（7,580名）	岡崎市医師会公衆衛生センターの人間ドック受診者を対象に、ベースライン調査と第二次調査を実施。現在、追跡調査実施中。
名古屋大学・静岡地区（5,008名）	聖隷予防検診センターの人間ドック受診者を対象に、ベースライン調査と第二次調査を実施。現在、追跡調査実施中。
名古屋大学・大幸地区（5,153名）	名古屋市の住民を対象に、ベースライン調査と第二次調査を実施。現在、追跡調査実施中。
滋賀医科大学（4,594名）	高島市の住民を対象に、第二次調査および追跡調査実施中。
京都府立医科大学（6,193名）	京都市内の人間ドック受診者および地域住民、京都府内の企業健診受診者を対象に、ベースライン調査を実施。現在、第二次調査と追跡調査実施中。
徳島大学（2,440名）	徳島県総合健診センターの人間ドック受診者および徳島県内の企業健診受診者を対象に、ベースライン調査を実施。第二次調査と追跡調査実施中。
佐賀大学（12,068名）	佐賀市の住民を対象に、ベースライン調査、第二次調査、10年後調査を実施。現在、追跡調査実施中。
鹿児島大学（7,640名）	5島（奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島）と本土3市で地域住民を対象にベースライン調査を実施。現在、第二次調査と追跡調査を実施中。

事務局からのお知らせ

J-MICC Study 静岡地区の主な名古屋大学スタッフです。
どうぞよろしくお願いたします。



研究に関する問い合わせ先：

- ◆名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65
TEL 052-744-2132（平日9:30～16:30）
FAX 052-744-2971
- ◆聖隷予防検診センター 健診看護課 担当：藤城
〒433-8558 浜松市北区三方原町3453-1
TEL 053-439-1115（平日9:00～16:30）

2017年3月より、ジェイミックスタディの主任研究者に前・中央事務局長である若井建志（名古屋大学医学系研究科予防医学 教授）が、中央事務局長に静岡地区責任者の内藤真理子が就任しました。研究ホームページに主任研究者のごあいさつを掲載しております（<http://www.jmicc.com/greeting/>）。今後の研究の方向性や展望が具体的に記されておりますので、お目通しいただければ幸いです。

皆様の温かなご支援に感謝いたしますとともに、引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。